

法哲学Ⅰ

科目ナンバリング FUL-303
選択 2単位

長谷川 陽子

1. 授業の概要(ねらい)

「法を哲学する」ということはどういうことでしょうか。本講義では、法の根本問題に関わる現代法哲学の展開を概括します。原理的・理論的な考察を必要とする法の根本問題とはいかなるものであり、それにかかわる法哲学的議論の状況がどのようなになっているかについて理解します。法の全体像と法に関する基本的な考え方を学習することで、法実務や法実践の場における姿勢の基礎を構築します。

2. 授業の到達目標

- ①法の現状と法哲学のかかわりについて理解することができる。
- ②法哲学における議論の焦点を把握することができる。

3. 成績評価の方法および基準

学期末の論述式試験を中心に評価します。出席確認を兼ねた感想シートを配布し、内容に応じて加点をします。

4. 教科書・参考文献

教科書

瀧川 裕英・宇佐美 誠・大屋 雄裕著 『法哲学』2014年 有斐閣
適宜レジュメを配布

その他参考文献については、随時お知らせします。

参考文献

瀧川 裕英 編 『問いかける法哲学』2016年 法律文化社

5. 準備学修の内容

授業の該当箇所の教科書とレジュメ内容などの予習・復習を行ってください。
関心を持った原典については、各自で読み進めるようにしてください。

6. その他履修上の注意事項

内容の連続性から法哲学Ⅱを継続して受講することが望ましいです。
講義中は、他人への迷惑行為および私語を禁じていますので、該当の場合には退室をお願いしています。

7. 授業内容

- | | |
|--------|------------------------------|
| 【第1回】 | イントロダクション:授業の概要と進め方 法哲学で扱うこと |
| 【第2回】 | 功利主義(1)古典的功利主義、現代的功利主義 |
| 【第3回】 | 功利主義(2)功利主義の批判と展開 |
| 【第4回】 | 功利主義(3)功利主義の問題点とまとめ |
| 【第5回】 | 正義(1)正義論の伝統と再生 |
| 【第6回】 | 正義(2)ロールズと『正義論』 |
| 【第7回】 | 正義(3)『正義論』のその後 |
| 【第8回】 | 自由(1)危害原理とリベラリズム |
| 【第9回】 | 自由(2)消極的自由と積極的自由 |
| 【第10回】 | 自由(3)リパタリアニズム |
| 【第11回】 | 平等(1)格差と貧困 |
| 【第12回】 | 平等(2)何の平等か |
| 【第13回】 | 平等(3)平等の正当化 |
| 【第14回】 | 平等(4)平等の目的 |
| 【第15回】 | まとめと振り返り |